



平成28年度 須田小学校だより

平成29年 1月12日

須田っ子 第11号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・CA・DA

あけまして
おめでとうございます



第3学期始業式 (2017. 1.10 撮影)



あけまして
おめでとうございます

平成二十八年(西)年です。今年も、元気がいっぱい学校生活を送れるようにと願っています。ご家庭・地域のみなさまからのご支援もよろしくお願いいたします。

校長 内山 晋

小寒を過ぎ、いよいよ寒さも一段と厳しく感じます。ただ、今のところ、積雪量も少ない雪ですが、子供たちには雪上での活動は豊かな学びの一つです。屋内では、昨年末から始まった「がんばりタイム」の縄跳びを全校で取り組めます。個人の技術の上達、学級全員での大縄跳びの練習にと、意欲的な取組が続きます。ただ、心配なのがインフルエンザや感染症です。「インフルエンド(終わり)」をひたすら祈っています。

仲を取り持つ「酉」年に
さて、今年は「酉」年です。全校児童百三名中十六人が生まれ年でした。酉は「申(サル)」と戌(イヌ)の間に立ち、

「犬猿の仲」を取り持つ役という言い伝えもあります。昔話「桃太郎」の三匹のお供「猿、鳥、犬」のチームプレーも最高でした。須田小学校も、そんな一年になるよう頑張ります。イベント的な取組も大事ですが、毎日の学校生活の中で繰り返し取り組むことも重要です。その中核となるものとして「言葉のチームプレー」を挙げます。これまで積み重ねてきた「対話の力」です。相手の考えを聞くだけでなく、「受け止め」「自分の考えも」「付け加え」ながら、よりよい「解決策を見付け出す力」を引き続き指導します。

「まとめ」の三学期に
六年生は中学校への進学的一年。大きな節目の年になります。他の学年も一つずつ上ります。しっかりとまとめをする三学期にしていきたいと思っています。「学習」は勿論のこと、「友だち」の「まとめ」も入ります。これまでの付き合い方を振り返ることも必要です。六年生の「成長」についての作文に次のような記述がありました。「感じ方や考え方が変わると、新しいこと」が見えてくる。それが「成長」だと。教えられる、我兒童。



校長室には、地域の方からご寄贈された絵画や写真等が掲示されています。浅学の私には、来校された方からのご教授で、やとその価値に気が付く有様で恥ずかしく感じております。さて、上の写真の高橋泥舟(でいしゅう)の筆「須田校」について紹介させていただきます。勝海舟が、その愚直な生き様に感動した泥舟。明治23年(1890)の校舎改築時の筆勢に見入ってしまいます。東京生まれの泥舟が何かの折に越後の地に立ちより、当時の須田の教育に掛ける熱い思いを三文字に込めたと、私は思っています。幾度の大水等の災害を乗り越え、地域を美田と果樹畑に変えた須田の先人たち。子供たちが「足元」を学ぶ活動を、今年は形にしていきたいと思っています。

高橋
泥舟

感謝とまとめの三学期に

～ 3学期の主な予定 ～

是非、学校での子供たちの姿を！

1月(正月)

11日(水)書初め大会

16日(月)校内書初め展 ～2月10日(金)



生活学習「加茂山たんけん」
平成24年6月(6年生が2年生時)

社会科学習

「梨の花粉つけ体験」

平成25年4月

(6年生が3年生時)



2月(如月)

8日(水)校内版画展 ～2月21日(火)

10日(金)学習参観日・学級懇談会

15日(水)ヒヤシンス贈呈式

16日(木)全校なわとび大会 13:50-14:40

28日(火)六年生を送る会



「六年生を送る会」の出し物

平成27年2月(6年生が4年生時)

3月(弥生)

24日(金)卒業証書授与式 9:30～10:30

2月10日(金)学習参観日・学級懇談会

◆日程・内容◆

14:00-14:45 参観授業

15:00-16:00 学級懇談会

(冒頭、学校評価説明会 TV 放送)

※ご案内及び学校評価説明会資料は後日配布。

(平成29年度の主な学校行事予定の事前説明)

2月15日(水)ヒヤシンス贈呈式(体育館)

◆日程・内容◆

8:15- 8:30 贈呈式

学習や地域でお世話になった方を

お招きして感謝の気持ちを伝える会

(老人会、ひまわり会、須田公民館等)



2月28日(火)六年生を送る会(体育館)

◆日程・内容◆

9:30-10:15 (2校時から休み時間)

総合進行 5学年児童

出し物 2、4学年児童

会場装飾 3学年児童

プレゼント 1学年児童

※詳しい案内は後日配布します

2年生が国語学習で学んだことを活かして、「生き物クイズ」を作りました。一人3編作った内から、1作品ずつを紹介します。たとえや数字で言葉を置き換えたり順序よく説明したりして工夫しました。

2年生の国語 Q&A

1年生への「すごい生き物クイズ」



Q ペンギンのお父さんは、じっと立ったまま卵を温めます。すごく寒い日はどうするでしょうか

A 何千羽もいるので、中にいるペンギンは外へ、外にいるペンギン中へ、交代で体を温めています。何千羽もいるので、体を押しあって体を温めているのです。まるで、おしくらまんじゅうをしているようです

Q ネコはお風呂に入りません。一体どうやって体を洗うのでしょうか

A 体を自分のべろでなめて洗います。しかし、一日に何回もなめないといけません。体をなめると、ザラザラした舌が、くしのような働きをして、毛についた汚れをとってくれるのです

Q ビーバーは、どんな音をたててものを食べるのでしょうか

A カリカリとおつめのを食べるような音がします。葉っぱは、僕たちが野菜のサラダを食べているような音です

Q ライオンは、顔をあらいます。一体どうやって顔を洗うのでしょうか

A 体じゅう自分でなめてきれいにします。まるで顔を洗っているみたいです。だけど、頭のてっぺんには、しが届きません。だから、頭をだれかにこすりつけながら、「こんにちば」って、あいさつをするみたいにしますのです

Q ラッコは、なぜ海にぶかぶか浮けるのでしょうか

A びっしり生えた毛の間に空気をためているので、浮輪のように浮いていることができます。ラッコは、毛の間に空気を入れることで、毛皮を浮き袋として使っているのです

Q ライオンのべろは、なぜザラザラしているのでしょうか

A ザラザラしていると、毛をなめるだけでよごれがとれるのです。ブラシの働きがあります。ライオンは、水を飲む時もこのザラザラにひっかかってうまく水が飲めます

Q ポニーは、牧場や動物園で人気者ですが、ポニーの高さは、何cmでしょうか

A 子どもの頃は、80cmです。大人になると147cmです。80cmはロッカーの3だん目ぐらいで、147cmは、5・6年生ぐらいの高さです。ポニーは、体は小さいけど、頭がよく、人によくなつく優しい馬が多いです。そして、飼っている人のことをちゃんと覚えるそうです。ポニーは覚えてすごいです

Q きつねは、イヌやねこに比べてどのくらい早く生まれてくるのでしょうか

A シマリスほど小さい体のきつねは、イヌやねこより10日ほど早く生まれます。お母さんのお腹の中で育つ期間は、ずばり52日です。1か月とちょっとで生まれるのですね

Q コウモリは空を飛べます。どのくらいの重さでしょうか

A 一円玉6個くらいの重さです。コウモリは飛ぶために体を軽くしているのです。

Q チンパンジーの赤ちゃんは、一日何時間食べているのでしょうか

A 7時間食べています。学校にいるくらいの時間を食べています。とてもすごいですね。好きな食べ物、熟した果物。種や葉っぱもよく食べます。

Q そうはたくさん水を飲みます。一日でどれくらいの水を飲むと思いますか

A 100リットル以上ぞうは水を飲みます。ぞうが飲む水の量は、人の2ヶ月分くらいです。太きい牛乳が100本くらいです

Q コアラの生まれたての赤ちゃんの大きさはどれくらいですか

A コアラの赤ちゃんは、2cmです。ハブラシのブラシの大きいくらいです。赤ちゃんは、においをたよりに、5分ほどでお母さんによじ登り、カンガルーと同じような袋に入ります。

Q ソウの赤ちゃんは、生まれてからどれくらいで、立ち上がろうとするのでしょうか

A 30分ほどです。人間は、1年くらいでやっと立つのに、ソウは、すごいですね。サザエさんのテレビの1日分です

Q ハムスターは、春になったら土の中から出てきます。夏は、夜になると行動します。さて、秋はどんな行動をするのでしょうか

A 秋になると、ハムスターは、草や木の実を食べ続けているのです。ハムスターは冬になると、土の中で、冬から春まで寝ているので、秋になると冬にお腹がすかないように、いっぱいご飯を食べるのです

Q ネコには、肉球があります。肉球は何のためにあるのでしょうか

A ネコやイヌは一日じゅう歩くので、肉球は、大切なものです。ネコとイヌは、クマと一緒に、人間がさわるとプニョプニョしています。ネコは肉球に爪を隠して、獲物をつかまえて食べます（宮口夏希）

Q シロクマは、名前の通り白いですが、年をとると何色になるのでしょうか

A シロクマは、年をとるごとに、だんだんクリーム色ようになります。シロクマが食べているアザラシなどの油のせいで、黄色くなってくるのだらうと考えられています

Q パンダは、赤ちゃんが鳴いている時、60秒間で何回なめるのでしょうか

A 60秒間で赤ちゃんを100回なめます。気持ちよくなり安心してすぐ鳴き止みます。お母さんになめてもらうことは、赤ちゃんが育つためにとても大切なことです



6年生が国語学習で学んだことを活かして、作文にまとめました。原稿用紙3枚の力作ぞろいです。その内の6作品を紹介します。作品の主題（作者が伝えたこと）を基に、子供の感じた「成長」の意味です。

6年生の国語

先輩に「成長について考えたこと」

「木のいのち」

この物語は、戦争の中でも生き生きとしていたけやきと、戦後生まれの千春が、春夏秋冬、小学校・中学校・社会人・年寄りまで、けやきから様々な影響を受けながら成長していく話です。…（中略）…「けやきは一見して小さくなったようです。でも、本当は少しずつ育っていて」のところから、この瞬間、千秋が亡くなり空から見ていることが読み取れます。…（中略）…ぼくは、最初、成長とは、身長や歳のことだと思っていました。これまでの学習から、心情変化（心の成長）だと気づき、成長についてより深く知ることができました。今後は、何かを知る時など、昨日の自分より今日の自分の方が成長できるようにがんばってみたいです。

「木のいのち」

この物語が、一番心情が読み取りやすく、場面が変わるごとに、主人公の考えがなだらかに変化していて、他の本にはないみれを感じました。…（中略）…主人公の成長とともに、けやきを見る視点が「見上げれば」→「少しずつ大きく」→「ほんの少し小さくなった」→「老いて小さく」→「自分のずっと目の下に」→「ずっと小さく」と変わり、千春のけやきに対する考え方も変わっていきます。少しの変化に気付けるような人は、けやきをとても大事で重要だと思っていると思います。…（中略）…この本が伝えたかったことは、千春とけやきが共に生きていくことだと思います。主人公とけやきの成長が同時に書いてあり、一回では読み取れません。でも、とても素晴らしい本だと思います。僕も、けやきのように、だれかの中の大きな存在になりたいです。

「山のいのち」

夏休み、主人公の両親の海外出張により、主人公の静一少年は、父の生まれ故郷にあずけられることになりました。…（中略）…私たちは、「成長」について考えました。最初は、身長が伸びること、いろいろな事ができるようになること等が出てきました。しかし、みんなで何度も本を読み返していくと、「見える世界が変わる」という考えが出てきました。この本に出てくる祖父の教えてくれたことが、主人公静一を変えてくれました。ということは、「見える世界を変える」ためには、いろいろな人からの助けが必要であり、自分一人だけでは変えることが難しいこともあることが分かりました。

私は、これから成長していくために、いろいろな人との関わりを大切に、いろいろな人と助け合っていきたいです。

「山のいのち」

主人公の静一は、不思議なほどに静かな子供で、言葉も忘れてしまったかのように何日もだまっていた、学校も休んでいました。そんな静一は…（中略）…祖父から、「何も無駄がなく、全部ぐるぐる回っている。」ということを教えてもらいました。そこから、静一は少しずつ変わっていきました。…（中略）…私は「海のいのち」や「山のいのち」で学習する前までは、「人は時間がたてば成長できる」と思っていました。でも、それは間違っていました。静一が祖父の言葉によって成長するように、家族や友達、先生などから色々なことを教えてもらって成長します。つまり、成長は自分一人だけではできません。周りの人から色々なことを教えてもらって成長するということが分かりました。

「街のいのち」

この「街のいのち」は、主人公の瞳の感情と、自然の様子を重ねて書いた作品です。母がなくなり、瞳の心は傷きました。すると校庭のいちょうの木は冬に葉を全て落とし、…（中略）…まるで瞳自身のようでした。

しかし、「時間は生きている。街も自然も寒い冬を乗り越えて、少しずつ命を回復させていて、瞳がどんな思いで立ち止まっても、時間は止まらず流れていくのだった。」季節や街は変わらずに流れ、回り続けます。でも、人は違うと思います。…（中略）…深く傷付き迷ってしまったときは、思い出のある町や自然に目をやって「自分が誰なのか」そんなことを考えるのでもいいと思いました。素朴な質問を自分に問い、その答えで街を元気にすることもできると私は思いました。

「街のいのち」

母が亡くなって、それに向き合いながら自然とともに成長していく主人公の瞳の姿に感動しました。…（中略）…いちょうの葉が落ちるころに母は亡くなってしまいます。季節は流れ、瞳はいつかかいだことのあるいいにおいの風に気付きます。その風は、瞳がどんな気持ちでいても時間が止まらず流れていることを思わせました。緑になった街の様子や気配にはげまされました。瞳は成長し、心も回復し、どんどん大人に近づいていきます。

いつ何が起るかわからない人生だけど、その中には、必ず自然があって、その自然に目をやると見えてくるものがあるのかなと思いました。

あと3ヶ月で中学生になります。迷ったとき、身の回りの自然に目をやりながら生活していきたいと思います。

